

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1591300049		
法人名	社会福祉法人桜井の里福祉会		
事業所名	グループホーム縁		
所在地	新潟県燕市分水旭町二丁目2番17号		
自己評価作成日	平成30年12月10日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai.gokensaku.mhl.w.go.jp/15/index.php?act=on_kouhyou_detai_1_2018_022_kani-true&li_gyosyoCd=1591300049-00&PrOfCd=15&Ver=si_onCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	平成31年1月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム縁は今年の4月に開設から10周年を迎えました。4月27日には「10周年お祝いの会」を開催し、ご利用者、ご家族、地域の方にお集まりいただき小さなイベントをし、紅白饅頭でお祝いしました。外部の方30名以上が参加してください、10年間縁にお住まいのご利用者やご家族からコメントもいただき、アットホームなひと時となりました。昨年からは地域のふれあいサロン「せばの里」の事務方の手伝いも行うようになり、縁と共同で地域へのチラシの配布をしています。コツコツとお付き合いをする事でつながりも強くなってきていることは実感しています。平成28年度から縁が単独で祭りを開催するようになり、初年度はサロンの人しかおいていただけなかったのですが、昨年、今年と来場者が増えて来ています。認知症カフェ「茶処『えにし』」も少しずつ形を変え、定期的に開催しています。

日常生活のご利用者の生活では、介護度が上がった、入居者の入れ替わりもありますが、縁での生活に役割を持っていただけるよう関わりやアセスメントを大事にしています。ライフサポートプランを取り入れ本人の一番の目標を明確にすることで、日頃の支援も担当の職員を中心に工夫しています。今年度から法人で労働生産性向上委員会を立ち上げ、職員の働きやすさについても検討するようにしています。ユニットでも効率化や業務改善など行い、職員の意見に耳を傾ける取組みをしています。特にグループホームは地域にある小さな事業者ですが、拠点である「はな広場」や近くにある事業所とも連携しながら、風通し良く、互いの良い所を取り入れるなど協力体制もできています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 地域に向けた情報発信への取り組み
事業所は4月で開所から10周年を迎えた。利用者、家族、地域の方々を招いた「10周年のお祝いの会」では、感謝の言葉とともに紅白まんじゅうでお祝いを行った。事業所の歴史と共に歩んできた利用者や家族からも意見要望をもらい、職員一同が今後に向けて大きな励みとなった。また事業所では、「えにし祭り」を開催しており、29年、30年には、地域の方を含め100人以上の方々より参加してもらうなど、地域密着型拠点として、地域に開かれた事業所として交流を深めている。更には昨年より社協主催のふれあいサロンである「せばの里」の運営にも参加し、事業所と共同で地域に向けて情報発信し、地域と共にある喜びを実感している。また認知症カフェ「茶処えにし」は地域の方々の交流の場になっており、ここに集う人たちの心の拠り所になっている。
- 利用者・家族の会があり共に支えあう共同体制の充実
事業所は落ち着いた外観と家のようなぬくもりを感じる空間に、自然と利用者、職員、ボランティアの輪が繋がっている。職員一人ひとりが利用者と一緒にここでの暮らしを大切に、いきいきして働く姿は利用者にも良い影響を与えていることが感じ取れる。下ん家「なかよし会」、上ん家「元気会」という利用者の会があり、その中で本人の思いや意向を引き出したりと、人と人との交わりを深めることが出来ている。家族の支援は常に協力的で、利用者、家族、職員が一つになり共に支えあう支援に繋がっている。
- 一人ひとりを支える温かい支援
ライフサポートプランの様式を用いて具体的な生活ニーズの掘り起こしが実践されている。利用者本人の持っている力を引き出せるよう利用者の生活に即した計画が作成されている。利用者一人ひとりがここでの暮らしに役割が持てるよう、表情やしぐさ、発した言葉などを大切に拾い上げることで、「一人一人特別」な生活の実現に向けた支援が実践されている。